

2023 第54回 中部日本ジュニア水泳選手権大会

2023年9月30日(土)～10月1日(日) 春日井市温水プール(50m) 結果報告

順位	氏名	チーム名	タイム	PB	順位	氏名	チーム名	タイム	PB
No.1 女子 小学生の部 400m 自由形 予選					No.3 女子 中学生の部 400m 自由形 予選				
2位決勝へ	丹所 潤瑠	1toSWIM 小6	4:44.51		4位決勝へ	玉置 侑衣	1toSWIM 中2	4:31.96	
No.25 女子 小学生の部 400m 自由形 決勝					No.27 女子 中学生の部 400m 自由形 決勝				
2位	丹所 潤瑠	1toSWIM 小6	4:46.45		2位	玉置 侑衣	1toSWIM 中2	4:27.60	
No.29 女子 小学生の部 200m 個人メドレー 予選					No.31 女子 中学生の部 200m 個人メドレー 予選				
22位	丹所 潤瑠	1toSWIM 小6	2:41.44		19位	玉置 侑衣	1toSWIM 中2	2:30.59	
No.37 女子 小学生の部 100m 自由形 予選					No.39 女子 中学生の部 100m 自由形 予選				
3位決勝へ	丹所 潤瑠	1toSWIM 小6	1:03.36		32位	玉置 侑衣	1toSWIM 中2	1:02.67	
No.53 女子 小学生の部 100m 自由形 決勝									
5位	丹所 潤瑠	1toSWIM 小6	1:03.06						



今年で第54回を迎えた、伝統と格式のある「中部日本ジュニア水泳選手権大会」が、地元春日井市温水プールで開催されました。大会名の通り、中部地区から小中学生のトップスイマーが集まり、タイトルを争う競技会です。近年レベルが上がっている北陸地方の選手達の飛躍で、大変レベルの高いレースが展開されました。丹所潤瑠選手・玉置侑衣選手はそれぞれ400m自由形で見事2位に輝きました。予選・決勝と1日に2回400mのレースを泳ぐには、しっかりとした持久力が必要です。玉置選手は、決勝で大幅にタイムを上げることができました。上位で戦う選手としてのスキルが身につけてきた結果ではないでしょうか。丹所選手は、初めての経験となった400m×2レースでしたが、小学生のうちから400mのレースで泳ぎきってきた選手は、長く活躍できる実力を備えているともいえます。

100m自由形でも、ハイレベルな予選を通過し、決勝でタイムを上げることができました。5位という順位以上の収穫があったと思います。これまで、全国大会を含め数多くの大会で活躍してきた両選手ですが、さらに上のステージに上がるために必要だった課題を、今大会でクリアしてきたと思います。練習を頑張っている選手には、もっともっと輝いてほしいと思います。今回はその期待を大きくさせてくれた素晴らしい2日間でした!! (報告:加藤)